

**事故の型別にみた車両系建設機械等による主な死亡災害事例**  
**(平成21年発生分)**

■車両系建設機械関係

01. 墜落・転落

番号	局名	業種	発生月	年齢区分	災害の発生概要
1	兵庫	土木工事業	12月	40～49歳	ドラグ・ショベルの運転席の屋根の上に上り当該ドラグ・ショベルの清掃作業を行ったあと、当該場所からカウンターウエイト上へ降りようとしたところ足を滑らせ2.7m下の地面に墜落した。
2	長崎	土木工事業	9月	40～49歳	湾の水温、酸素濃度等を測定するため、台船(15m×36m)上において、ドラグ・ショベル(機体重量 15.3t)を用途外使用して、A重油が入ったタンク(1.5m×1.6m×1.5m、約 2.5t)を吊り上げて、旋回中にドラグ・ショベルが転倒し、運転していた労働者ごと海に転落した。
3	北海道	その他の業種	4月	40～49歳	自社車庫の組立て作業において、トラクター・ショベルのバケットを地上から約 4.2m の高さにセットし、これに被災者が梁を伝って乗り移り、屋根部材の垂木設置作業を行っていたところ、地上に墜落した。
4	群馬	土木工事業	10月	60歳以上	水路の仮設パイプ(長さ 4m×直径 30cm)をドラグ・ショベルを使い撤去作業中、同僚がトラックを運転してパイプを移動してドラグ・ショベルに戻ってきたところ、被災者が地面から 2.7m 下がった水路に横向きに倒れているのを発見した。
5	福島	土木工事業	10月	60歳以上	被災者は、林道新設工事において、ドラグ・ショベルを運転して、法面の掘削作業を行っていたところ、作業道から約 30m 下の斜面にドラグ・ショベルごと転落し、運転席から投げ出された。
6	岡山	建築工事業	9月	20～29歳	資材置き場で、当日の工事に使用する住宅基礎用の加工済み鉄筋(長さ 5m 程度のもの 8 本、総重量 259kg)をトラックに積み込むため、斜面の上端に停めたドラグ・ショベル(機体重量 2.9t、平積みバケット容量 0.1m <sup>3</sup> )で吊り上げ、斜面方向へ旋回したところ、クローラが浮いて傾き、そのまま斜面を転落し機体の下敷きとなった。
7	高知	その他の業種	7月	50～59歳	作業道を開設するため、掘削した土砂を下方の作業道へ落とし、ドラグ・ショベルを用いてダンプトラックへ積み込んで運搬を行っていたが、作業道が崩壊し、ドラグ・ショベルごと約 50m 下の川へ転落した。
8	福岡	その他の建設業	6月	40～49歳	会社の駐車場で、2t トラックの荷台に機体重量 1.35t のドラグ・ショベル(小型バックホウ)を積み込むため、トラックの荷台の後部に鉄製の歩み板(長さ 3m)2枚を掛け渡し、歩み板の上にドラグ・ショベルを前進させていたところ、ドラグ・ショベルが左に傾き、被災者とともに転落、その下敷きとなった。
9	岩手	その他の業種	3月	40～49歳	採石場の頂上付近で、ドラグ・ショベルを使用して除雪作業を行っていた際に、路肩から約 140m 下にドラグ・ショベルごと転落した。
10	新潟	土木工事業	2月	20～29歳	用水路敷設工事現場において、掘削用機械(ドラグ・ショベル 機体重量 1.5t)を移送させるため、ダンプ(最大積載量 3.7t)の荷台に道板(幅 50cm 長さ 2m)を 2 本掛け(角度 29 度)、掘削用機械をダンプの荷台に載せようとした時、片方の道板が外れ、掘削用機械ごと地面に転落し、被災者が掘削用機械の下敷きとなった。
11	長野	その他の業種	2月	60歳以上	機体重量 3t 未満のドラグ・ショベルを用いて椎茸原木搬出用の林道を新設中、路肩を踏み外して転落した。
12	熊本	その他の業種	1月	30～39歳	採石場内において、ドラグ・ショベルを運転して移動中、ドラグ・ショベルごと路肩から斜面を約 35m 転落した。
13	鹿児島	土木工事業	8月	60歳以上	建設機械(油圧ショベルのアタッチメントを刈払機装着したもの、機械総重量 5,045kg)を用いて河床周辺の草刈りをした後、堤防の上に当該建設機械を移動させるため斜面(勾配 45 度程度、法高 4.45m)を走行させていたところ転倒し、機体の下敷きとなった。

## 01. 墜落・転落

番号	局名	業種	発生月	年齢区分	災害の発生概要
14	東京	土木工事業	6月	60歳以上	井戸改修工事において井戸のケーシングパイプの設置を完了して、パーカッショニ機(井戸用のパイプの取出し、挿入を行う機械装置)の支柱(同パイプを支える柱)をトラック車両上に格納する作業を行っていた。被災者は機械装置上の床上(高さ約2.8m)に乗り、控えワイヤーの取りまとめ作業をしていたところ、地上に墜落した。

## 02. 転倒

番号	局名	業種	発生月	年齢区分	災害の発生概要
1	愛知	土木工事業	12月	50~59歳	下水道工事に使用する碎石を土場に山積みし仮置きしていたが、碎石の山が広がってきたことから、ドラグ・ショベルを使用して山周囲の搔き揚げ作業を行っていたところ、運転していたドラグ・ショベルが前のめりに転倒した。
2	鹿児島	製造業	4月	20~29歳	市道路上で、車両系建設機械〔トラクター・ショベル(ホイール式)；機体重量1,600kg〕のバケットに土を入れて運搬していたところ、当該機械が横転し、被災者がその下敷きとなった。
3	神奈川	土木工事業	4月	50~59歳	山林内の整地のために2t トラックから碎石を降ろし、掘削用の車両系建設機械の排土板を使って敷き詰める作業を行っていた被災者が、転倒した当該機械のアーム部分に挟まれた状態で発見された。
4	岡山	土木工事業	12月	30~39歳	道路拡幅工事において、被災者はタイヤローラーを事業場の保管場所から工事現場まで公道を運転して移送作業を行っていたところ、現場直前の右カーブ(アスファルト舗装、道幅4.5m、R=20m、約8°の下勾配)で車体がバランスを崩して横転し、下敷きとなった。
5	長崎	土木工事業	10月	40~49歳	水道管布設工事において、幅0.6m、深さ0.8mの掘削溝の上を、車両系建設機械(ブレーカ)で移動中に、排土板が掘削溝に当たり、ブレーカが横転した。
6	兵庫	その他の建設業	3月	50~59歳	4人でジェットコースターの線路の橋脚(支柱)の塗装を行っていた。被災者2人は高所作業車を用いて、作業を行っていたところ、高所作業車がバランスを崩して高所作業車上で作業をしていた2人とともに転倒した。作業直前に高所作業車で作業をしていた箇所の高さは約12.5mで、高所作業車設置場所の地盤の傾斜角は約10度~15度であった。
7	兵庫	その他の建設業	3月	40~49歳	4人でジェットコースターの線路の橋脚(支柱)の塗装を行っていた。被災者2人は高所作業車を用いて、作業を行っていたところ、高所作業車がバランスを崩して高所作業車上で作業をしていた2人とともに転倒した。作業直前に高所作業車で作業をしていた箇所の高さは約12.5mで、高所作業車設置場所の地盤の傾斜角は約10度~15度であった。

## 03. 飛来・落下

番号	局名	業種	発生月	年齢区分	災害の発生概要
1	広島	製造業	3月	60歳以上	コンクリートプラントの骨材(砂利・砂)ヤードにおいて、コンクリートブロック(1辺92cm正方形、重さ約1.7t)を同僚が操作する車両系建設機械(トラクター・ショベル)を用いて積み替え作業中、3段目に積んだ当該ブロックが落下して被災者が下敷きとなった。
2	神奈川	その他の建設業	1月	20~29歳	土止め用H鋼くいの引抜作業において、移動式クレーンにくい抜き用アタッチメントを取り付けてH鋼を引抜き、地上に降ろしていたところ、アタッチメントの下部が外れて落下し、付近で玉はずし作業をしようとH鋼の近くにいた被災者に直撃した。
3	徳島	土木工事業	3月	60歳以上	市道脇の所有山林の一部造成のため、ドラグショベルに油圧ブレーカユニットを装着し、岩石を碎く作業を行っていたところ、アームの先端から油圧ブレーカユニットが外れ、機体とブームの間を通り、被災者に激突した。
4	埼玉	建築工事業	10月	40~49歳	木造家屋解体現場において、1F床の一部を重機を使用して剥がし、解体していた。近くの養生シートが風になびいて邪魔になっていたため被災者が単管に登り(高さ1.8m)、これをしづり、そのそばで退避していたところ、剥がした角材の一部が被災者にはねて激突した。被災者はその衝撃で隣地に墜落した。
5	東京	建築工事業	8月	40~49歳	被災者は、本件工事の基礎コンクリート打設作業にあたり、コンクリートポンプ車の運転・操作に従事していたが、当該コンクリートポンプ車の輸送管が閉そくしたことから、輸送管の接続部を切り離したところ、加圧された生コンクリートが被災者にむけて飛来(噴出)した。

## 04. 激突され

番号	局名	業種	発生月	年齢区分	災害の発生概要
1	埼玉	製造業	10月	60歳以上	コンクリート廃材等を粉碎処理して、砂利等に加工し、舗装材として出荷する事業場において、被災者が作業場所内を移動していたところ、砂利等を出荷するためダンプ自動車への積載作業を行っていたトラクター・ショベルに轢かれて被災したもの。
2	福岡	土木工事業	8月	50～59歳	2tダンプで採石を積みに行った際、荷台の幌を立てていたところ、後進してきたショベルに激突された。
3	大阪	土木工事業	6月	50～59歳	アスファルトガラを処分するため、3tダンプにて、アスファルト混合所に入場し、所定の場所へアスファルトガラを搬出後、ダンプから降りて荷台後方で作業していたところ、混合所場内でガラ等の整理作業をしていたトラクター・ショベルがバックしてきて、ダンプ荷台とトラクターショベル後部との間に挟まれた。
4	北海道	その他 の業種	5月	50～59歳	鉄筋コンクリート廃材から再生資材を製造する作業において、被災者は、プラントで小割りされた廃材から鉄筋を取り除くため、トラクター・ショベルが地面に広げた廃材から鉄筋を拾い集める作業に従事していたところ、後進してきたトラクター・ショベルの左後輪に轢かれた。
5	石川	その他 の業種	10月	40～49歳	砂防堰堤建設工事現場において使用されていた敷設板を回収し、リース会社まで運搬するため、現場の作業員がドラグ・ショベルを用いてトラックに積み込む作業を行い、敷設板を積み重ねるような状態でトラック荷台に載せようとした瞬間、吊り上げていた敷設板がずれたため、慌ててドラグ・ショベルを操作して吊り上げようとしたところ、荷台上で荷外しなどの補助を行っていた被災者に激突した。
6	福岡	建築工事業	8月	30～39歳	杭打工事（全周回転オールケーシング杭口径φ2,300）を行っていたところ、クラムシェルのハンマーグラブ（φ2,000、重量5t）上部の掘削バケット開閉連結具（セントラルチェーン）のリンクが捩れ、巻き上げ困難となつたため、ハンマーグラブを地面に降下させ、被災者含め2名で修復作業を行っていたところ、不安定であったハンマーグラブが回転しながら横倒しとなり、付近で作業をしていた被災者が下敷きとなった。
7	熊本	土木工事業	6月	60歳以上	草刈り作業中に法面を滑落し、法面下で整地作業をしていたドラグ・ショベルに轢かれた。
8	神奈川	土木工事業	3月	30～39歳	戸建住宅宅地造成工事現場において、集水栓の床堀作業を行っていたドラグ・ショベルのバケットが、現場状況の確認のため、写真撮影を行おうとしていた被災者に激突した。
9	山形	土木工事業	2月	50～59歳	道路改良工事現場において、現場内でドラグ・ショベルを台車に載せて移動する作業中、道板を使用せずにバケットを支えにしてドラグ・ショベルの機体を浮かせて台車に載せようとしたところ、ドラグ・ショベルが台車荷台より転落、そのまま法面を下り、法面下で作業をしていた作業者が下敷きとなった。
10	茨城	土木工事業	3月	50～59歳	柱に沿って擁壁を作る工事を行うにあたり、くい打ち機を用いてH鋼を地面に入れるべきところ、H鋼がうまく入らなかったので、いったん引き抜こうとした際に、被災者がH鋼に近づいたため引き抜かれて振れたH鋼が被災者に激突し、近くにあった柱との間に挟まれた。
11	広島	製造業	1月	60歳以上	コンクリート圧縮強度試験機（幅70cm、奥行50cm、高さ173cm）の撤去作業において、同試験機の下に単管3本を敷き、同試験機の脚部にワイヤロープを巻きつけ、ブレーカ（機体重量2.17t）のフックに掛けて引っ張り移動させようとしたが、思うように動かなかつたため、被災者がバールを同試験機の下に入れ持ち上げようとしたところ、同試験機が被災者の方へ倒れ、下敷きとなった。
12	滋賀	土木工事業	7月	30～39歳	橋梁建設工事において橋の強度を上げるために、橋の水平面に通してあるワイヤーの両側にジャッキを取り付け、動力油圧ポンプでジャッキに圧力を掛けてワイヤーを引っ張り緊張させていたところ、50MPaまで圧力を上げた時点でコンクリートの一部が破損したことによりジャッキが傾き、付近にいてワイヤーの伸びの測定作業等を行っていた被災者2名に当該ジャッキが当たった。
13	埼玉	その他 の業種	3月	20～29歳	トラックにて木くず等廃棄物を産業廃棄物処理場に運搬していた被災者が、積みおろされた木くずの整理作業を行っていたドラグ・ショベルに轢かれた。
14	兵庫	建築工事業	3月	60歳以上	鉄骨造の個人住宅を解体する現場で、建物の解体を終え、廃材の仕分け、収集等を行っていた際、敷地境界を越えた廃材を敷地内に移動させようとドラグ・ショベル（アタッチメント：カッター）を後退させたところ、ドラグ・ショベルの後方にいた被災者と接触した。

## 04. 激突され

番号	局名	業種	発生月	年齢区分	災害の発生概要
15	群馬	その他の業種	3月	60歳以上	建設会社の敷地内において現場に向かうため、建柱車のクレーン機能を用いて荷の積み込み作業をしていた。積み込みが終わり、建柱車を敷地内で走行させた時、アウトリガーを張り出したままであったので、アウトリガーが縦列駐車してあった高所作業車に激突し、高所作業車が押し出され、高所作業車間にいた被災者が挟まれた。

## 05. 挟まれ・巻込まれ

番号	局名	業種	発生月	年齢区分	災害の発生概要
1	三重	製造業	9月	40~49歳	被災者は、トラクター・ショベルが構内でバケットを上げ、運転者が運転席で待機している状態で停車していたため、当該トラクター・ショベルのバケットと車体本体の間にあるヒンジ部にグリスを注入する作業を始めたが、運転者は被災者が当該箇所で作業していることに気がつかず、トラクター・ショベルを前進させたため、左前方車輪にて被災者を轢いた。
2	北海道	土木工事業	8月	50~59歳	畑の改良工事において、被災者はブル・ドーザーにエンジンオイルを注入後、自らエンジンをかけた。ギヤが後進（2速）に入り、駐車ブレーキを引いていかたため後進し、（推定原因により）被災者はクローラとステップ等との間に巻き込まれ、地上に墜落した。
3	高知	土木工事業	7月	60歳以上	田畠のかさ上げ作業において、ダンプトラックで運搬してきた土砂をドラグ・ショベルの排土板を使って均していたところ、ダンプトラックの荷台のあおり上に残っていた土砂を取り除いていた被災者が前進してきたドラグ・ショベルのバケットとダンプトラックのあおりの間に挟まれた。
4	和歌山	土木工事業	6月	50~59歳	被災者が、産廃施設でコンクリートと金網の分別作業を行っていたところ、碎石を運搬してきた採石場のトラクター・ショベルに轢かれた。
5	東京	建築工事業	3月	60歳以上	躯体解体工事完了後の土間コンクリート上で、土間上の碎石をドラグ・ショベルで集積作業中、掃き掃除を行っていた被災者が後進するドラグ・ショベルのキャタピラに轢かれた。
6	宮城	土木工事業	2月	60歳以上	商業用地開発造成工事において、碎石を車両系建設機械（ブル・ドーザー）を用いて敷き均し作業を行っていた被災者が、後進してきた車両系建設機械のキャタピラの下敷きになった。
7	秋田	製造業	12月	60歳以上	採石場の運搬通路の路面補修作業で、被災者がドラグ・ショベルに近寄り、轢かれた。
8	石川	土木工事業	10月	50~59歳	県道の舗装を補修する作業中に、被災者（1次下請け）が工事個所の終点を確認するため、その終点箇所に行った際、元請け労働者が運転するドラグ・ショベルが後退し、被災者はドラグ・ショベルに轢かれた。
9	東京	建築工事業	3月	60歳以上	木造家屋解体現場において、解体中の建物に散水作業を行っていた被災者に重機（クラッシャー付き）が接触した。
10	石川	土木工事業	3月	50~59歳	融雪装置の既設制御盤の基礎（コンクリート製、約 950kg）の撤去作業中、ドラグ・ショベルのバケットに基礎を乗せ旋回したところ、当該ドラグ・ショベルのクローラがピット開口部に乗っていたため、ドラグ・ショベルが傾き、運転手がとっさにアームを伸ばしたところ、ピット内で、バケットが通過するのを待つためかがんでいた被災者が、バケットとピット側壁に挟まれた。
11	福岡	土木工事業	2月	20~29歳	橋台の築造工事において、出来上がった橋台の横で、ドラグ・ショベルのバケットに入れた生コンをシャベルですくって石積みの裏込めコンクリートを打設していたところ、ドラグ・ショベルのバケットと橋台の間に挟まれた。
12	埼玉	建築工事業	2月	50~59歳	被災者は、宅地造成工事で、配水管等の敷設作業に従事していたが、資材の片付けを行っていた際に、排土板で埋め戻し作業を行っていたドラグ・ショベル（機体重量 5.9t）に接触した。
13	大阪	土木工事業	2月	30~39歳	汚泥配管（φ 100 × 6 m）をドラグ・ショベルで吊り上げて、土砂ピットに立てかけて清掃していた際、被災者がバケットの下に入って、ドラグ・ショベルの運転手にバケットを下げるよう命囁を送ったところ、被災者がバケットと土砂ピットの間に挟まれた。

## 05. 挟まれ・巻込まれ

番号	局名	業種	発生月	年齢区分	災害の発生概要
14	北海道	土木事業	1月	60歳以上	被災者は元請労働者3名と埋め戻し作業に従事しており、元請労働者2名がドラグ・ショベルの前方に位置し、被災者1名だけがドラグ・ショベルの後方の位置で鍵を使い路肩の成形を行っていた。ダンプトラックが土砂を運搬してきたため、ドラグ・ショベルを約70cmほど後進させたところ、被災者を躰いた。
15	岡山	土木事業	11月	40~49歳	送水管布設工事現場において、作業開始後、被災者は現場から約100m離れた空地に置いていたローラーを一人で取りに行った。しばらくして、ガードマンが空地に人影がないことを不審に思い、責任者に連絡、責任者が空地に行ったところ、ローラーの下に倒れている被災者を発見した。
16	宮城	土木事業	2月	20~29歳	砂利をローラーで均す作業中、被災者がローラーの進行方向に立ち誘導していたところ、停止の合図をしたにもかかわらず、ローラーが止まらず前進し、被災者を躰いた。
17	北海道	その他の建設業	12月	50~59歳	被災者は、高さ9.28mの天井に設置してある照明機器（水銀灯）の清掃作業を、高所作業車のバケットに乗りながら行っていたところ、高所作業車のバケットと天井の鉄骨梁の間に挟まれた。
18	京都	土木事業	12月	50~59歳	高所作業車を使用してバケット足場の解体作業を終え、場所を移動するため、一度作業床を格納するための移動中に操作を誤り、上部のPC桁の底板と高所作業車作業床内操作盤のガードパイプの間に挟まれた。
19	愛知	その他の業種	11月	60歳以上	高所作業車を使用し、工場天井付近の梁、筋かい等にハト避ける剤を塗布する作業を行っていたところ、バケットを寄せすぎたため、筋かいとバケットの手すり部との間に挟まれた。
20	神奈川	その他の建設業	9月	30~39歳	製鉄所構内の配管の更新工事において、足場を組み立てるため、既設配管の架台上に200mmのH鋼材を仮置き固定したのち、被災者が高所作業車の作業床を後方に水平移動させたところ、仮置したH鋼材と高所作業車の操作盤周りとの間に挟まれた。
21	福井	土木事業	9月	30~39歳	トンネル坑内において、被災者が高所作業車の作業床に乗って、一人で風管設置のためのアンカーの取付け作業を行っていたが、他の作業員がその作業場所を通り過ぎ、切羽で作業を確認して戻ってきたところ、被災者が作業床の手すりと測定器設置のための架台の間に挟まれた。
22	新潟	建築工事業	1月	30~39歳	鉄骨造2階建建築工事において、2階部分の柱の接続作業を行うにあたり、移動式クレーン（つり上げ荷重50t）で2階柱材をつり上げ、接続部分を高所作業車（作業床高さ18m）の作業床に乗ってボルト締めしようと、被災者は高所作業車の作業床に乗り自ら操作をして作業床を接続作業箇所に上昇させていたとき、上部に既に設置していた大梁に気づかず、この大梁と作業床に挟まれた。
23	茨城	土木事業	12月	60歳以上	海上でグラブ船にて浚渫（海中土砂の掘削）作業を行い、掘削位置から90度ほど旋回を繰り返して横着けした土運船に土砂を積み込む作業を行っていたところ、被災者がグラブ船に取り付けられたクレーンの上部旋回体に巻き込まれているのが発見された。
24	熊本	土木事業	11月	40~49歳	資材置場で自走式破碎機のコンベヤ一部で、被災者がゴムベルトと抑えローラーの間に挟まれた。被災者は一人作業を行っており、自走式破碎機の試運転、点検等のため、同機を起動させた後、コンベヤ一部付近に接近して巻き込まれた。
25	静岡	土木事業	11月	60歳以上	舗装補修工事のため、路面切削機（重機）で道路を切削した。路面切削機を移動させるため、一旦後進したが、カラーコーンに当りそうになつたため、前進した。そのとき、路面切削機の右前タイヤ付近で、竹ぼうきで道路を掃く作業をしていた被災者が右前タイヤで躰かれた。
26	新潟	土木事業	10月	30~39歳	駐車場新設工事において、被災者はスタビライザ（路盤用機械）を運転して地面に散布したセメントを混合する作業を行っていたが、機体のロータとロータ部分を覆うカバーの間に石が挟まったため、機械を停止させて運転席後方よりカバー内に入り、石を取り除く作業を行なっていたところ、カバーが落下し挟まれた。
27	長崎	建築工事業	10月	20~29歳	被災者は、店舗解体現場において重機で解体する際の水かけ作業を行っていたところ、後退してきた重機に挟まれた。
28	福岡	建築工事業	8月	60歳以上	小学校体育館解体工事現場において、被災者が建設用機械の後方で地面に落ちている廃材の収集作業を行っていたところ、後進してきた建設用機械に躰かれた。

## 05. 挟まれ・巻込まれ

番号	局名	業種	発生月	年齢区分	災害の発生概要
29	愛知	その他の建設業	5月	40～49歳	建物を解体していた際に、アタッチメントをフォークに換えてタンクを移動させていた20t ドラグ・ショベルが、廃材の仕分け作業をしていた被災者ごと挟んで持ち上げた。

## 06. 激突

番号	局名	業種	発生月	年齢区分	災害の発生概要
1	埼玉	土木事業	9月	60歳以上	河川の暗渠工事現場に設置されたボックスカルバートの両脇を埋め戻しするため、投入された改良土の均し作業を機体重量 980kg のドラグ・ショベルで行っていた。ショベルで均したものをお機体後部の排土板により再度均そうと後退した際、川床地面より 140cm の高さにある土止め支保工を支えるH鋼の切梁に激突、運転席と切梁間に挟まれた。

## 07. 交通事故

番号	局名	業種	発生月	年齢区分	災害の発生概要
1	兵庫	その他の業種	10月	50～59歳	工事現場である道路上において、車線を規制し交互通行させるべく警備員である被災者が車両を停止させたところ、先頭にいたロードカッター車は一旦停止したが動き出し、被災者が当該ロードカッター車に轢かれた。

## 08. その他

番号	局名	業種	発生月	年齢区分	災害の発生概要
1	石川	土木事業	12月	60歳以上	自社の資材置き場において、被災者とドラグ・ショベル運転者2名で、工事で使用する鉄板（重さ約 1.6t）4枚を、ドラグ・ショベルにて吊り上げてトラック荷台へ積む作業中、1枚目の鉄板をトラック荷台に置いたところ、鉄板が荷台からはみ出したため、再度、ドラグ・ショベルにて吊り上げて荷台に置いたところ、鉄板に掛けた玉掛け用フックが外れて、被災者の方へ倒れた。
2	滋賀	建築工事業	10月	20～29歳	ガソリンスタンドの解体工事において、幅約 27m、高さ 2m40cm のコンクリートブロック塀を解体するため、重機の爪で塀の上部を挟み重機の手前に引いたところ、塀全体が倒壊し、塀の近くで散水等の作業を行っていた被災者が下敷きになった。
3	神奈川	建築工事業	7月	20歳未満	ドラグ・ショベルのバケットをフォークグラブ（掴み爪型）に付け替えたものを使用して駐車場の外壁部分を取り壊していたところ、被災者が立ち入り、倒れてきた壁の下敷きとなった。
4	東京	その他の業種	6月	30～39歳	地下の駐車場の天井側で、構造上、溝がある部分に、ハトよけのネットが張られていたが隙間があり、それをふさぐ作業をするため、高所作業台の据え付け作業を行っていた。移動保管のため、斜めになっていた高所作業台を、被災者と同僚の2名で、起こそうとしたところ、斜めの状態を保持していたシリンダーのピンを、同僚が、抜く必要があると考え（錯覚し）、抜いてしまい、高所作業台が倒れ、被災者に激突した。